第5回ものづくり日本大賞

「ものづくり日本大賞」は製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や、伝統的・文化的な『技』を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、『モノづくり』に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀だと認められる人材を顕彰する制度。2005年に内閣総理大臣表彰として創設。経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省の4省が連携して、2年に1回開催されている。

各世代の優秀な人材を顕彰

内閣総理大臣賞に24件

安倍首相㊨から表彰を受ける畠ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング常務

今回で5回目となる「ものづくり日本大賞」は、内閣総理大臣賞に富士フイルムやワイエスピー（福岡県飯塚市）、クロスエフェクト（京都市伏見区）、経済産業大臣賞にマツダやアベル（大阪府八尾市）など合計86件・395人が選ばれた。内訳は内閣総理大臣賞が24件（75人）、経済産業大臣賞が18件（85人、1団体）、特別賞が10件（67人）、優秀賞が34件（168人）。

今回の受賞者チームと企業は、国内サプライヤーを巻き込んで製品の付加価値を引き出し、独自の加工技術を持つ中小企業が下請けからメーカーに転身するといった、新たな分野や技術を切り開くビジネスモデルの力強さが高く評価されたケースが目立った。例えば内閣総理大臣賞を受賞したクロスエフェクトのチームは、1点生産に強い3Dプリンターの特徴を生かし、患者の手術方針などを事前に検討できる「心臓シミュレーター」を開発した。

同じ内閣総理大臣賞のツキオカフィルム製薬（岐阜県各務原市）は、社業の薄膜技術を基盤に、全く異質で高度な製剤分野を確立したことが評価された。

「経済を引っ張るトッププランナー」

政府は安倍晋三首相が出席して9月18日、首相官邸で内閣総理大臣賞を授与する表彰式を行った。会場では自家培養軟骨ジャックの製品化という、わが国初の独自の再生医療製品を開発することに成功した、ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（愛知県蒲郡市）の畠賢一郎常務らが、安倍首相から表彰状を受け取った。表彰式で安倍首相は「安倍政権の最重要課題は、経済の再生。その経済を支えているのが『モノづくりの力』。皆さんは日本経済を引っ張るトッププランナーとして、頑張っていただきたい」と述べて、今後の日本のモノづくりを支える受賞者らに対し力強くエールを送った。

受賞者から受賞製品の説明を受ける安倍首相や茂木経済産業相

表彰式当日首相官邸には、受賞企業のうち2社の製品サンプルが展示された。具体的には、中小企業が付加価値の高い医療分野に進出した事例として、患者の手術方針などを事前に検討できるクロスエフェクトの「心臓シミュレーター」が会場に置かれて、出席者からの質問が相次いだ。

また大手企業を代表して、ダイキン工業が製品を展示。地球温暖化への対応と日本でのモノづくり競争強化に役立つという、日本企業が抱える二つの難しい課題の同時解決を、次世代省エネ冷媒（HFC32）を採用することでクリアした同社のエアコン部材が披露された。

安倍首相は製品サンプルが置かれた会場を、茂木経済産業相らと回り、受賞者らの説明に「（この技術は）まねされないですか」と質問するなど高い関心を寄せていた。

他にも今回のものづくり日本大賞での受賞者を見ると、富士フイルムの佐々木格氏ら7人は、液晶ディスプレーの世界的普及を支えた光学フィルムの高度生産プロセスの開発。ワイエスピーの新開節夫氏ら6人は、業界最短の製造時間で高品質の豆乳製造を実現した。ソニーセミコンダクタ（熊本県菊陽町）の門村新吾氏ら7人は世界初、裏面照射型CMOSイメージセンサーの開発と量産化に成功した。

旭イノベックス（札幌市清田区）の立崎裕康氏ら6人は、洪水から人を守る無動力自動開閉樋門ゲート（オートゲート）を開発。ツキオカフィルム製薬（岐阜県各務原市）の月岡忠夫氏と西村美佐夫氏は伝統的箔押印刷技術を応用し、装飾性や医薬用途に優れる高機能フィルム製品群を開発したことが受賞につながった。

また建設分野からは大成建設の市原英樹氏と萱嶋誠氏が、環境に配慮した100㍍以上の閉鎖型超高層ビルの解体工法「テコレップシステム」で受賞した。同システムは、①近隣への安全・安心②地球環境への配慮③解体工事の効率化―などを一挙に解決したもので、旧グランドプリンスホテル赤坂の解体現場に適用された。

「第5回ものづくり日本大賞」受賞者

内閣総理大臣賞	経済産業省関係	8件	49人
	国土交通省関係	7件	9人
	厚生労働省関係	5件	9人
	文部科学省関係	4件	8人
	計	24件	75人
〈経済産業省関係〉			
経済産業大臣賞		18件	85人1団体
特別賞		10件	67人
優秀賞		34件	168人
計		62件	320人1団体

インタビュー　経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室長　平塚　敦之氏

国際競争力 高める工夫を

製造業の復活なくして、日本再興は果たせない。安倍晋三政権の掲げる成長戦略「日本再興戦略」の柱もまた製造業を筆頭に、国内企業が活躍しやすい環境の整備にある。しかし、世界市場での競争激化だけでなく、為替の円安進行による燃料・原材料高や3Dプリンター登場など、日本のモノづくり産業を取り巻く環境は日々変化している。第5回「ものづくり日本大賞」の受賞者には、そういった構造変化に、いち早く対応した企業が並ぶ。経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室長の平塚敦之氏に製造業の重要性などを聞いた。

―製造業の構造変化に伴い、「ものづくり日本大賞」の受賞者や受賞理由も従来と変わってきているのでしょうか。

「モノづくりを表彰する制度のなかで、内閣総理大臣賞を与える最高の賞だ。ただ、賞自体が変わってきている。製造業の競争環境の変化がある。技術的に優れているというだけで、モノづくりを評価できない状況だ。そのなかで、わが国の重要課題をどう解決しているのか、また、日本の産業界の国際競争力維持・発展にいかに貢献しているのかを見ながら表彰するようにしている。生産現場の技術革新から社会課題の解決、クール・ジャパンなど多岐にわたる。技術に優れているから良いわけではなく、市場への着眼点や効率的な生産方法まで対象だ」

―国内製造業を取り巻く環境は具体的にどう変化していますか。

「構造的な変化と呼ぶべきもので、最終製品を売ることだけで稼がないビジネスモデルが求められる。製品の設計や製造工程全体を見て、どこで価値が生まれるかを考えるべきだ。製品のバリューチェーン全体を俯瞰して、高付加価値なモノづくりを実現する仕組みが大事。技術面だけではなく、視野の広いモノづくりが必要になる」

―環境は変化しても、製造業の重要性には議論の余地はありません。

「まず日本は、貿易赤字が拡大している。これは電力問題により化石燃料の輸入が増えたためだが、経常収支が赤字になれば国の財政は成り立たなくなる。貿易収支をどう稼ぐか、最終的に経常収支をいかに黒字にするかがカギだ。輸出の90%を占める製造業を維持していくことが大事だ。すそ野が広く、ある程度の給料をもらえる質の高い雇用も生み出している。この役割をサービスや医療・介護産業で担うのは簡単ではない」

―今後のモノづくり支援政策の方向性は。

「モノづくりの現場が活性化し、働く人たちが元気になるような政策を進めていきたい。設備投資支援の減税措置などは政府の成長戦略に盛り込んでおり、産業競争力強化法の支援措置や規制緩和などでモノづくり産業をしっかりバックアップする仕組みをつくろうとしている。技術だけではないモノづくりは中期的な課題で、今までと違う人材育成やイノベーション支援によって国際競争力を高める工夫をしていきたい」

Fujikin Carp Group

内閣総理大臣表彰

2013年　第5回
ものづくり日本大賞
経済産業省「優秀賞」海外展開部門 受賞
高清浄度のクリーンバルブをベトナムで生産、品質とコストの両立を実現！

2005年　第1回
ものづくり日本大賞
「優秀賞」受賞
ガス供給システムに画期的な技術革新！ 世界NO.1のシェアを誇る集積化ガス供給システム。
※当社調べ。

おかげさまによりまして創業85年謝恩プレキャンペーン実施中！

超モノづくり部品大賞
10年連続＋7受賞！
・2013年　内閣総理大臣表彰 第5回 ものづくり日本大賞 経済産業省「優秀賞」海外展開部門 受賞
・2011年　第6回 モノづくり連携大賞 特別賞 受賞
・2005年　内閣総理大臣表彰 第1回 ものづくり日本大賞「優秀賞」受賞
・2001年　黄綬褒章 受章
・1984年　米国バーラー賞 受賞
・1983年　化学プラント・ショー 優秀製品賞 受賞
・1982年　10大新製品賞 受賞

2004年 部品賞　高性能小型 メタルガスケット継手 UPG
2005年 奨励賞　電動小型ダイレクトダイヤフラムバルブ ECV
2006年 機械部品賞　電子バルブ プレトロニック SR100E
2007年 奨励賞　圧力制御式 流量コントローラ FCS
2008年 超環境関連部品賞　燃料電池自動車 高圧水素充てん機用 制御弁・遮断弁
2009年 超機械部品賞　気体作動高耐久 ダイレクト ダイヤフラムバルブ
2010年 超機械部品賞　高温250℃対応 圧力制御式 ガス流量制御器
2011年 超奨励賞　高機能サニタリー用 ソフトダイヤフラム バルブ
2012年 超機械部品賞　スティック IGS
2013年 超電気・電子部品賞　フローレシオコントローラ

アラ・コラ 先募集！ 皆様とのアライアンス・コラボレーションを求めています。ぜひ、ご一報をお待ちしております。

VSIPバクニン（ベトナムシンガポール Industrial Park バクニン）の
フジキン BAC NINH INC が経営するレンタル工場の入居募集開始！！

“アジアものづくり共有体”体制を加速します。

「超・極・微とファイン・クリーン・グリーン」の最先端機器は宇宙環境創りの―
フジキン
株式会社フジキン

□本店　〒550-0012　大阪府大阪市西区立売堀2-3-2　TEL06-6532-5601（大代表）FAX06-6533-1812
□総本社　〒530-0012　大阪府大阪市北区芝田1-4-8（北阪急ビル）　TEL06-6372-7141（大代表）FAX06-6375-0697　TEL050-3160-7141（IP）
□新本社　秋葉原中央総合センター　〒101-0021　東京都千代田区外神田1-18-13（秋葉原ダイビル）　TEL03-5209-8401（代表）　FAX03-5209-8261
□本部　〒601-8133　京都府京都市南区上鳥羽藁田20-1　TEL075-661-6791　FAX075-661-4401